

19年度版 流通に適した魚作りをめざし 香川の養殖魚のイメージアップを図ろう

健康な魚つくりをしよう

★肥満魚にならないように、
栄養のバランスを心掛けよう

CP比を 考えよう	ハマチ	CP比	85~100の範囲で 93中心
	カンパチ	CP比	85~ 90の範囲で 85中心
	マダイ	CP比	70~ 80の範囲で 75中心

※カンパチは魚油を出荷前10日間添加しない事。

生餌と配合飼料との割合いと、魚油添加の分量(%)によるC/Pの演算表は、次のとおりです。

ハマチ・カンパチのC/P比演算表(タンパク質50%配合飼料使用の時)

モイスト割合 生餌脂肪(%) C/P比 魚油添加(%)	生50:50				生60:40				生70:30				生80:20			
	5	10	15	20	5	10	15	20	5	10	15	20	5	10	15	20
1	64	70	76	82	65	73	81	89	67	77	88	98	69	82	96	109
2	66	72	78	84	68	76	84	92	70	80	90	101	72	86	99	113
3	69	75	81	87	70	78	88	94	73	83	93	104	75	89	103	116
4	71	77	83	89	73	81	89	97	76	88	96	107	79	92	106	120
5	73	79	85	91	76	84	92	100	79	89	99	110	82	96	109	123
6	76	82	88	94	78	86	94	102	82	92	102	113	86	99	113	126
7	78	84	90	96	81	89	97	105	85	95	105	116	89	103	116	130
8	81	87	93	99	84	92	100	108	88	98	108	119	92	106	120	133
9	83	89	95	101	86	94	102	110	90	101	111	122	96	109	123	136
10	85	91	97	103	89	97	105	113	93	104	114	125	99	113	126	140
11	88	94	100	106	92	100	108	115	96	107	117	128	103	116	130	143
12	90	96	102	108	94	102	110	118	99	110	120	131	106	120	133	147
13	93	99	105	110	97	105	113	121	102	113	123	134	109	123	136	150
14	95	101	107	113	100	108	115	123	105	116	126	137	113	126	140	153
15	97	103	109	115	102	110	118	126	108	119	129	140	116	130	143	157

全体量に対する魚油添加%である。

★出荷時のスレをなくしよう

○常に肥満度を見ていこう(数値範囲外の魚は出荷しない)

ハマチ	夏15~16	秋16~17	出荷時	16.5~22.0
カンパチ			出荷時	16.5~20.0
マダイ			出荷時	19.0~24.0

肥満度の計算方式 $\frac{\text{魚体重}}{\text{尾叉尾}^3} \times 1,000 = \text{肥満度}$

計算例 $\frac{(魚体重) 3,500g}{(尾叉尾) 57cm \times 57cm \times 57cm} \times 1,000 = 18.9$

○栄養のバランスを考えよう

投餌はC/P比を基にモイストペレットを作ろう。
ミネラル・ビタミンの不足を補うために適量の栄養剤を添加しよう。

生産履歴を明確にしよう

★養殖日報を作成して養殖履歴を明確にし、JAS法に基づく品質表示等の法制化に対応しよう

マダイのC/P比演算表

条件設定(生50:配合50)

	生餌		(生餌の油質)		アミエビ	配合飼料	モイスト
配合割合(%)	35		下記参照		15	50	100
生餌脂肪	5	10	15	20			
C/P比	56	57	57	58			
魚油添加(%)							
0	56	57	57	58			
1	59	59	60	60			
2	61	62	62	63			
3	64	64	65	65			
4	66	67	67	68			
5	69	69	70	70			
6	71	72	72	73			
7	74	74	75	75			
8	76	77	77	78			
9	79	79	80	80			
10	81	82	82	83			

1. アミエビを15%以上入れて下さい。
2. アミエビだけでは充分でないので、色揚げ添加剤を併用して下さい。
3. 1kgの増肉に対して60mg以上の色素量が必要です。
4. 例えば1kgの増肉を1.6kgの成魚にした場合
色素量は、増肉0.6kg×60mg=36mg
飼料は、0.6kg×増肉計数4.5=約3kg
飼料3kgの内(アミエビ15%)は、450g
(アミエビ1kgには色素量が30mg入っている)
0.45kg×30mg=約13mgです。
アミエビ(15%)分……13mg
アスタキサンチン……23mg
5. マダイ色揚げ添加剤例
日清ハイカラーの場合
アスタキサンチン(2400mg/kg)

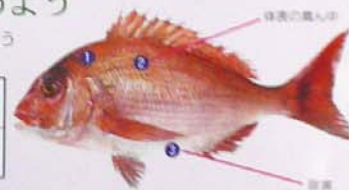
添加期間	添加率
3ヶ月	1.00%
6ヶ月	0.50%

モイスト全体量に対して

★マダイの色揚げに努めよう

1. 平成15年度より、色差計で下記の要領で行うものとする。

検査基準	(1) 頭部 a値 赤色	(2) 背部 a値 赤色	(3) 腹部 L値 明暗
出荷時	10.0	13.5	73.5



2. 3ヶ所を検査して、2ヶ所合格基準に達すれば合格とする。
3. 検査時期は、概ね出荷2週間前とするが、何尾測定するか等具体的な手法や合格しなかったもの及び出荷の取り決めについては、別途定める。
4. 合格後、出荷までに増肉によって色度が落ちる場合があるので、引き続き色揚げに留意して下さい。検査後1ヶ月以上経つと再検査します。

生餌だけでは栄養のバランスがとれない為、モイストで栄養剤を添加しよう。

○粘液(ヌメリ)の多い魚を作ろう

生餌は単一魚種の連続投餌でなく、魚種を変え栄養剤を添加しよう。

○網(ハダ虫対策)の汚れを防ごう

○密殖を避け漁場に合った適正な放養尾数にしよう

★漁場環境管理に努めよう

香川県魚類養殖指導指針を遵守して、養殖漁場の環境管理に努め、地域ごとに漁場管理計画をつくり、水質・底質の目標基準値を維持して、持続的養殖生産を目指しましょう。

香川県かん水養殖漁業協同組合

香川県魚類養殖生産物品質向上検討会

●詳しくは、香川県かん水養殖漁業協同組合に、ご相談ください

事務所 TEL 087-825-0351

FAX 087-851-6310